

◆冬に多発する尿石症

尿石症とは、尿の成分が変化してできた結石が、ぼうこうや尿道に入り、いろいろと障害を現す病気です。おもに肥育の去勢牛に見られますが、最近では去勢前の子牛、市場上場前の去勢子牛にも発病し、とくに冬から春先にかけて、多発の傾向にあります。

初めは陰毛の先端に灰白色の粉末状、顆粒状の付着物がついて、指でつまむとジャリジャリしています。症状が進むと、排尿する回数が多く細かくなり、やがては滴が垂れるような排尿となり、結石による尿道の閉塞（へいそく）が起これると、食欲廃絶を呈し、後肢で腹部をけるなどの症状が現れ、ときには死亡することもあります。

予防は、去勢を5カ月齢以降にするとか、冬期間はお湯を飲ませるなど十分な飲水に心掛け、良質粗飼料を十分給与することです。また、戸外での日光浴に努め、カルシウム剤、ビタミン剤の飼料添加と併せ、鉍塩をなめさせたりします。



尿石症